

「国際化における言語と文化」

宇都宮大学国際学研究科は、一般市民のみなさんに大学院の授業を公開します。今回の講座は、国際化における言語と文化のあり方や意味、さらには変容などの問題を国際的・学際的な観点から検証する試みです。具体的には、日本語と日本文化を中心に、日本の社会や文化・学術の状況、国際的な文脈から、各教員の独自の視点を提示します。どなたでも受講できますので、ご自由にお越し下さい。

第1回

10月 6日(土)
梅木由美子 教授

14:00~16:00 場所:国際学部E棟1階1151教室
「日本語を通して知る日本」

第2回

10月 13日(土)
松井 貴子 教授

14:00~16:00 場所:国際学部D棟3階1341教室
「世界の中の日本人—諺を読みなおす」

第3回

10月 20日(土)
鎌田美千子 准教授

14:00~16:00 場所:UUプラザ2階
「外国語としての日本語をめぐる」

第4回

11月 3日(土)
友松 篤信 教授

14:00~16:00 場所:国際学部E棟1階1151教室
「グローバル人材の言語と文化」

第5回

11月 10日(土)
高山 道代 准教授

14:00~16:00 場所:国際学部E棟1階1151教室
「近代日本と日本語」

第6回

11月 17日(土)
湯澤 伸夫 教授

14:00~16:00 場所:国際学部E棟1階1151教室
「英語の多様性」

第7回

12月 1日(土)
吉田 一彦 教授

14:00~16:00 場所:国際学部E棟1階1151教室
「人が2言語以上を話すことの意義」

会場

宇都宮大学（峰キャンパス） ※授業当日の教室の開場時間は13:30です。

宇都宮市峰町350

JRバス・東野バス「宇大前」、関東バス「宇都宮大学前」

※自動車でお越しの際は、正面案内所にてゲート通過用のパスカードをお受け取りください。

募集人員

50人（募集人員を超えた場合は、先着順とさせていただきます）

受講料

無料

申込方法

「公開授業参加希望」と明記し、住所・氏名・連絡先電話番号をご記入の上、「封書」または「電子メール」にてお申し込みください。
封書でお申し込みの方は、返信用封筒、80円切手を同封してください。

申込先

〒321-8505 宇都宮市峰町350
宇都宮大学国際学部総務係
E-mail koksomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

問合せ先

TEL028-649-5164
詳細は宇都宮大学ホームページをご覧ください
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/>



JRバス・東野バス「宇大前」
関東バス「宇都宮大学前」

平成 24 年度 宇都宮大学大学院 国際学研究科公開授業

国際学総合研究 B (国際化と日本)

「国際化における言語と文化」

宇都宮大学国際学研究科は、一般市民のみならず大学院の授業を公開します。今回の講座は、国際化における言語と文化のあり方や意味、さらには変容などの問題を国際的・学際的な観点から検証する試みです。具体的には、日本語と日本文化を中心に、日本の社会や文化・学術の状況、国際的な文脈から、各教員の独自の視点を提示します。どなたでも受講できますので、ご自由にお越し下さい。

第1回

10月 6日(土)

14:00~16:00

梅木由美子 教授

場所：国際学部 E棟 1階1151教室

「日本語を通して知る日本」

外国語を学ぶとき、私たちは外国語そのものだけでなく、その言葉を使う国や地域の文化をも同時に学んでいる。日本語についても同様で、学習者は学んでいる日本語から日本に触れることになる。表記、語彙、文法、敬語表現など私たち日本人が日頃特に「日本的」だと意識することなく使っているものが、学習者から見ると、日本という異文化への理解につながっているのである。この講義ではそれらの具体例をいくつか挙げ、日本語学習者の視点から見る日本はどのような姿をしているのかを把握する。

第2回

10月 13日(土)

14:00~16:00

松井 貴子 教授

場所：国際学部 D棟 3階1341教室

「世界の中の日本人－諺を読みなおす」

諺は、複雑な人間社会で生きるための知恵である。世界各地のそれぞれの言語によって、様々な諺が作られ、長く受け継がれてきている。今回は、日本の諺を、外国の諺との「異質性」と「同質性」という視点から読みなおし、グローバル社会のなかでの日本人の発想や行動の特性について考える。あわせて、諺という言語表現の特性についても、諺と同様に短さを特徴とする短詩類と比較して考察を試みたい。

第3回

10月 20日(土)

14:00~16:00

鎌田美千子 准教授

場所：UUプラザ2階

「外国語としての日本語をめぐって」

世界のグローバル化の進展とともに、外国語習得へのニーズが高まっている。本講義では、海外で外国語として学ばれている日本語および日本国内で第二言語として学ばれている日本語に焦点をあてて、その学習と教授に関する諸問題を論じる。日本語教育を取り巻く社会的状況をふまえ、日本在住の外国人児童生徒の教科学習に必要な学習言語としての日本語の習得についても考察する。

第4回

11月 3日(土)

14:00~16:00

友松 篤信 教授

場所：国際学部 E棟 1階1151教室

「グローバル人材の言語と文化」

グローバル化といわれる現在、企業や社会はどのような人材を求めているのか。授業では、グローバルな人材に広く認められるグローバルマインド、すなわち多様な文化や価値観との相乗作用によって、新たな価値を生みだそうとする発想と行動様式を取り上げます。また、言語、異文化理解、海外適応などの問題を取り上げ、グローバル人材の要件を探ります。

第5回

11月 10日(土)

14:00~16:00

高山 道代 准教授

場所：国際学部 E棟 1階1151教室

「近代日本と日本語」

日本の国際化を考える際、近代という時代は避けてはとおれない転換期といえます。近代における欧米諸国からの文物の流入は大量かつ急激であり、日本語にも多大な影響をおよぼしました。本講義ではこの時代に生じた日本語の変化について、語彙、文法、文体などの諸側面からとりあげます。社会の変化と言語とのかわりについて考える契機となるような授業にしたいと思います。

第6回

11月 17日(土)

14:00~16:00

湯澤 伸夫 教授

場所：国際学部 E棟 1階1151教室

「英語の多様性」

英語は、現在、国際共通語の地位を確立し、国際社会でのコミュニケーションに重要な言語となり、地球上で多くの人々に使用されている。こうした人々はある決まった発音で英語を話すわけではなく、世界中にはいろいろな英語の音声が存在する。英語を聞いて理解するためには、できるだけ多くの英語の音声に慣れ親しんでいることは大切となる。本講義では英語の音声体系を学んだ後、いくつかの英語の音声を概観し、英語の多様性の一面に触れたい。

第7回

12月 1日(土)

14:00~16:00

吉田 一彦 教授

場所：国際学部 E棟 1階1151教室

「人が2言語以上を話すことの意義」

母語プラス1の言語使用について可能性と意義の両面で考察する。言語使用の言語学的基底を見ることから、英語学習の困難さのために日本では不可能視されがちなこのことが、実は世界の大半の人の日常にあることを確認する。そして、成人外国語習得の不可能性、英語一極支配への恐れ、日本語教育強化の国益への直結性等の言語観を検討、外国語学習における到達目標の再明確化、不公平感のない共通語の決め方、多言語使用により改善される諸問題について考える。